

国立公文書館前館長 **加藤丈夫**氏

「記録を守る 未来に活かす
この仕事を担うアーキビスト
必携の書」

学習院大学名誉教授 **高埜利彦**氏

「アーキビストとは誰なのか、
民主主義のインフラ＝
アーカイブズ制度とは何か、
知ってほしい」

2024年7月刊行

アーカイブズ学 用語辞典

今日ほどアーカイブズ学が
求められている時代はない。

時代を超えて継承される「記録」に
かかわるすべての人が「学べる」
総勢92名の専門家による
初の本格用語辞典、
ここに誕生！

アーカイブズ学用語研究会「編」
A5判上製 478頁
定価 8,800円(税込)

アーカイブズ学用語研究会メンバー

坂口貴弘 / 下重直樹 / 保坂裕興 / 宮間純一
矢野正隆 / 湯上良 / 大木悠佑 / 小宮山敏和
寺澤正直 / 長坂良宏 / 関根豊

日本におけるアーキビスト資格の創設に携わるなど、専門職の養成を牽引する大学の研究者、国や地方自治体の文書館等の最前線で活躍するアーキビスト有志からなる研究会

こんな方におすすめします

文書館などアーカイブズ所蔵機関スタッフ / 図書館司書・
博物館学芸員 / 官公庁・企業で記録管理に携わる方
記録やアーカイブズの研究者・学生 / 歴史学、図書
館情報学、法学、行政学などの研究者・学生 / 地
域史研究者や資料保存活動従事者

2020年度より
スタートした
アーキビスト
認証制度
対応！

柏書房

〒113-0033 文京区本郷2-15-13 TEL.03-3830-1891 FAX.03-3830-5337
<https://kashiwashobo.co.jp> E-mail:eigy@kashiwashobo.co.jp

諸学の基盤の基礎情報を完全網羅!

粘土板から羊皮紙、デジタルデータまで
人間の営みの検証を可能とする

本辞典の特長

- 総勢92名の専門家の手により、1,269項目を見出し語として収録。これまでに類を見ない圧倒的な質と量を誇る本邦初の本格用語辞典。デジタル化の急速な進展によって新たに登場した用語・概念も完全収録。
- 学びたいテーマからのアプローチを可能にする、「項目別主要用語分類」を掲載。アーカイブズの理論と実践を体系的に把握できる「読める辞典」。
- さまざまな組織や団体において記録の管理に携わる専門家から、これからアーカイブズ学を学ぶ入門者まで、誰もが用語を正確かつ端的に理解するための手掛かりに。

アーカイブズ学とは

持続的価値のある記録情報の保存と、時・空間をこえたアクセスを人類に保証する学問。本書はアーカイブズについて学ぶ人々、さらに実践に向き合う専門職 アーキビストが認識を共有し、ともに働くための基礎となることばを知るための初の本格的な用語辞典。

内容見本
(実寸の75%)

にんしよ

館(仮称)設立準備特別委員会が1958(昭和33)年9月13日に日本学術会議へ提出した「国立文書館建設の要望書」は、その最たる事例である。こうした活動が契機となり、翌1959(昭和34)年6月18日、日本学術会議第48委員会に、委員長より「公文書散逸防止に関する建議(案)」が提出され、同年11月28日には、日本学術会議が政府へ「公文書散逸防止について(勧告)」を提出するにいたった。国立公文書館の開館(1971(昭和46)年7月2日)は、こうした活動の成果として評価されるべきである。(熊本史雄)

【英】 certified archivist

1) 2020(令和2)年より独立行政法人国立公文書館が開始した公的な資格認証プログラムに含めた個人。最初の認証は2021(令和3)年1月に実施された。認証を求めるには、一定の実務経験と能力(大抵は研究能力)を有する必要がある。

基本用語は原語表記を記載、知識を世界に
つなげる手掛かりに

【英】 certified archivist
1) 2020(令和2)年より独立行政法人国立公文書館が開始した公的な資格認証プログラムに含めた個人。最初の認証は2021(令和3)年1月に実施された。認証を求めるには、一定の実務経験と能力(大抵は研究能力)を有する必要がある。

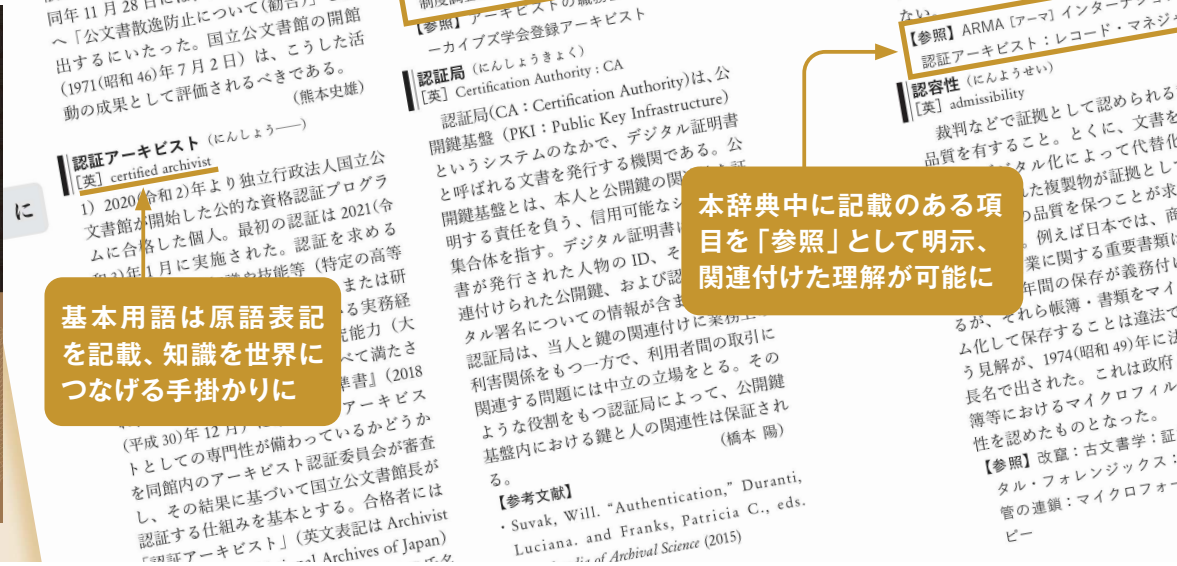
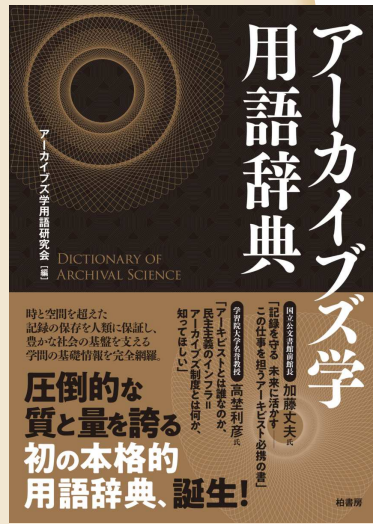
より理解を深めるためのガイドとなる「参考文献」の掲載

【参考文献】
・国立公文書館編「アーキビスト養成・認証制度調査報告書」(2019年、国立公文書館)
【参照】アーキビストの職務基準書:日本アーカイブズ学会登録アーキビスト

【英】 Certification Authority: CA
認証局(CA: Certification Authority)は、公開鍵基盤(PKI: Public Key Infrastructure)というシステムのなかで、デジタル証明書と呼ばれる文書を発行する機関である。公開鍵基盤とは、本人と公開鍵の間の関係性を証明する責任を負う、信用可能な集合体を指す。デジタル証明書は、本人のID、そのIDが発行された公開鍵、および公開鍵と本人との関係性に関する情報が含まれる。公開鍵は、本人と鍵の関連付けに利用される。公開鍵は、本人と鍵の関連付けに利用される。公開鍵は、本人と鍵の関連付けに利用される。

本辞典中に記載のある項目を「参照」として明示、関連付けた理解が可能に

【参考文献】
・Suvak, Will. "Authentication," Duranti, Luciana, and Franks, Patricia C., eds. *Handbook of Archival Science* (2015)



注文書

書店名

アーカイブズ学 用語辞典

アーカイブズ学用語研究会 [編]

定価8,800円(税込)
A5判上製、478頁
ISBN978-4-7601-5531-6 C3500

冊

お名前

ご住所・ご所属

取扱書店